

# 新型リーチフォークリフト FBR2-3t

## New Reach Forklift Truck FBR 2-3t



FBR2-3tは、顧客から高い評価を得ているFBR1t系モデルのコンセプトを踏襲し、さらに顧客からの要求を満たす4つの特長(作業性、経済性、快適性および安全性)を兼ね備えたリーチフォークリフトである。小回り性については、住友ナコフォークリフト株式会社の独自技術であるAWC(Aisle Width Control)を採用することで、業界最小の直角積付け通路幅を達成し、作業効率、保管効率および疲労度を大幅に改善した。また、省エネルギー性については、新モータの採用や制御の最適化などにより、規定のサイクルパターンにおいて消費電力量を従来車比率で13%削減した(JIS D6202:2011, FBR20-312Ahバッテリーでの比較)。

### 主要仕様

機種	FBR25(新型)	FBR25(従来)
定格荷重(kg)		2500
揚高(mm)		3000
走行速度(km/h)	9.5	11.5
上昇速度(mm/s)		500
最小旋回半径(mm)	1950	1955
直角積付け通路幅(mm)	2760	2860
全長(mm)	2210	2195
全幅(mm)	1210	1220
ヘッドガード高さ(mm)	2270	2300
車両重量(kg)	3010	3090
バッテリー(V×Ah)	48×312	

### 特長

(1) 作業性：走行と荷役における加減速特性および制御を

最適化し、インチング時の作業性を向上させた。また、リーチシリンダのショックレス機能やリーチローラスパンの改善により、荷役操作時のマスト揺れを低減した。倉庫内での作業性を向上させるべく、オプションとしてセーフティレーザ、キャリッジライトおよびLEDライトを用意している。

- (2) 経済性：荷役モータにACモータを採用することで、エネルギー効率を向上させた。また、油圧機器の効率化および旋回時にトルクを抑制する旋回速度制御によりエネルギー消費の低減に貢献している。さらに、従来車と同等の走行・荷役性能を維持することで、作業性と経済性の両立を図っている。
- (3) 快適性：フロア高さを従来車より30mm低くした。この低床化により、リーチフォークリフトの作業において頻繁な乗降時の疲労低減を実現した。ステアリングは、EPSモータ制御による操舵角ロックにより、従来車のような操作エンドで発生する機械的なショックを防止した。
- (4) 安全性：運転席以外からの操作を防止する走行・荷役インターロック、下り坂での意図しない加速を抑制するスロープスピードリミット、旋回速度制御装置を標準で搭載した。また、オプションとしてオペレータの急操作を知らせる危険運転警報や充電時の温度を監視する装置など、幅広い要求に応える装備を用意している。

(住友ナコフォークリフト株式会社 村上 智)